

# 生中通新

平成29年1月11日(水)

生駒市立生駒中学校

文責 校長 藤原康成

「口蓋垂」自分の知らないところで人は支えられ、生かされています。

新年明けまして おめでとうございます。

本年も皆様にとって

素晴らしい年になりますよう

心よりお祝い申し上げます。



平成29年は酉年なのですが、正確に言うと干支は“丁酉”(ひのととり)になります。もともと干支というのは十干(じっかん)と十二支を合わせたもので、十干(甲、乙、丙、丁…)と十二支(子、丑、寅、卯…)を順番に1つずつ合わせたものが干支になるのです。最初の1文字をそれぞれ組み合わせると、甲(きのえ)+子(ね)で甲子(きのえね)になります。音読みにすると「こうし」となります。高校野球で有名な「甲子園球場」の名前は、干支が甲子の年にできたのでこの名前がついたと言われています。

あなたは「酉」ってなんの鳥か知っていますか? 「知ってるよ～」という人もいますが、正解は「鶏(にわとり)」です。じゃあなんで鶏なのか。本来十二支は古代中国で方角や時刻、月を表すものとして用いられてきました。この十二支に十干を合わせて暦年を表すことにも使われました。「酉」という感じは酒つぼを描いたもので、「酒」に関する字に使われてきました。収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表します。そのことから、果実が成熟した状態を表しているとされています。もともと十二支の子、丑、寅、卯…亥には動物の意味はなく、庶民が十二支を覚えやすくするために身近な動物が当てられたということです。「にわとり」が選ばれた理由は明らかではありません。酉は十二支の中の10番目で、酉年の西暦年を12で割ると1余る年になります。実際に2017年を計算してみました☆ $2017 \div 12 = 168$  あまり1 (雑学も心と頭の肥やしにしてくださいね。)

鳥は人に時を報せる動物です。また、「とり」は「とりこむ」と言われ、商売などでは縁起の良い干支です。さらに、酉の干支の特徴として、“親切で世話好き”とあります。新しい1年のスタートに当たり、新たな目標をガッツリ心に刻み込み、一步成長した自分を見つけ出しましょう。今年の私のテーマは「新たな挑戦・チャレンジ」です。

そして、「さわやかに、元気な あいさつを・・・」そんな一日を大切にしたい。